



今月のテーマ

身体的拘束最小化の義務化について

令和6年の診療報酬改定で身体的拘束を最小化する取り組み強化が始まりました。

「身体的拘束最小化」の ポイント

1

「身体的拘束の最小化」が原則
すべての病棟・病室で施設基準に

2

基準をクリアできないと減算も

「身体的拘束最小化」の 基準

- ・患者又は他の患者等の生命又は身体を保護するため
緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行ってはならないこと
- ・身体的拘束最小化対策に係る専任の医師及び
専任の看護職員から構成される 身体的拘束最小化チームを設置する

基準を 満たしていない 場合

身体的拘束最小化に関する基準を満たすことができない保険医療機関については、
特定入院料又は短期滞在手術等基本料の所定点数から 1日につき40点を減算する



テクノスジャパンの **離床センサー** は
拘束に依らない安全対策 です！

他にも様々な目的・用途でセンサーを使用できます。
まずは一度テクノスジャパンにご相談ください！

たとえば…

車イスからの
立ち上がりが心配で



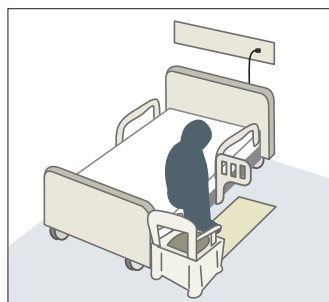
そんな方には…

立ち上がりを知らせしてくれる

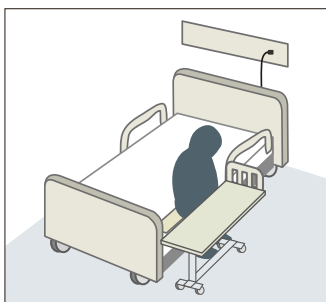
座コール・メロディタイプ



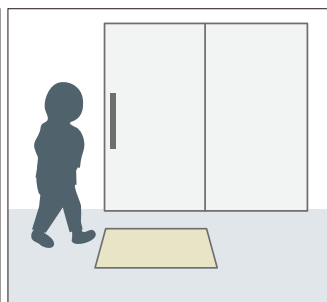
立ち上がると
その場で
お知らせ



素早いトイレ介助を
目的に使用



端坐位で駆けつける
目的に使用



病室からの徘徊検知を
目的に使用